

「東京いー散歩」

担当教員名 後藤 彌彦

コース概要

日程	2017年9月5日、7日、12日、14日
場所	東京官庁街、下町、山の手
参加人数	19名

コースのねらい

江戸と東京のまちづくりに関する施設を訪ね、その歴史を学ぶとともに、今後の東京の都市環境、都市景観、都市の緑と防災を考える視点を提供します。

内容

- 1日目 昭和初期の官庁計画による旧文部省ビルで大臣室などを見学しました。次ぎに国会議事堂、国会前庭、桜田門などを遠望しながら、明治の官庁集中計画による旧法務省庁舎と中の法務資料展示室を見学しました。農林水産省食堂で昼食ののち、日比谷図書館（千代田区の都市形成に関する展示）、日比谷公会堂を見つ、日本初の西洋式庭園である日比谷公園を散策しました。次ぎに二重橋を臨みながら皇居外苑を散策し、大手町噴水公園で解散しました。
- 2日目 深川江戸資料館で江戸の暮らしを学んだのち、清澄庭園を訪ねその歴史と都市の緑の拠点としての役割を学びました。隅田川に沿って散策し、気候緩和など都市における河川の働きを考えながら、清洲橋などの景観を楽しみました。江戸東京博物館で昼食ののち、横網町公園で慰霊堂、復興記念館を訪ねました。旧安田庭園を経て、最後に明暦の大火に関係する回向院を訪ね、両国で解散しました。
- 3日目 上野公園を博物館、東照宮、大仏、清水堂などゆっくり散策しました。それから不忍池を経て、旧岩崎庭園でコンドル設計の明治期の洋館建築を見学しました。東大構内を散策し、赤門や昭和初期の校舎建築を見るとともに食堂で昼食をとりました。歴史ある菊坂を経て水道歴史館で江戸から現在に至る水道を学び、終わりに震災小公園元町公園を訪ね、水道橋で解散しました。
- 4日目 王子駅近くの音無親水公園を経て、江戸庶民の行楽地飛鳥山公園を歩き、隣の渋沢栄一の屋敷跡を訪ねました。西ヶ原一里塚を経て、地震の科学館で震度7を体験しびっくりしました。旧古河庭園で和洋調和した庭園を散策し、女子栄養大学で昼食しました。午後はソメイヨシノ誕生の地染井の里、染井墓地を経て、西ヶ原ふれあい公園で防災と環境を考慮した都市公園を見学しました。終わりに、旧中山道を歩きとげ抜き地蔵に参拝し、巣鴨で解散しました。

学習を終えて

今回いー散歩のFSで多くの江戸の歴史を学び、当時生き抜いてきた人々が様々な知恵や工夫をなされていたと感じました。技術革命後の東京は物にあふれ、情報もSNSで飛び交う時代になり、便利な生活を私たちは当たり前に思っていますが、こうして江戸時代の生活を見てみると物の有難さが身にしみて感じました。

2日目に訪れた深川江戸資料館では江戸の町並みが忠実に再現されていて、江戸時代の人々の暮らしを体験することができました。お米の蔵には戸を閉めると重りが落ちてロックがかかる仕組みになっていて、今でいうオートロックの機能が古くから使用されていて感動しました。それと同時に、物が今よりもはるかに乏しい時代の中で生まれたアイデアは今の時代にきちんと受け継がれてきているのだと感じました。昔の人々に目を向けることは現代の不便なく暮らせる生活が当たり前ではないということを実感させる良い機会であると思いました。

この4日間のFSでは多くの文化財に携わり歴史を学ぶことができました。普段は、あまり観光はしないので多くの建物を見学し江戸の文化を知ると共に現代までの道のりを学ぶ良い体験ができました。 2年 白鳥 未歩

